

児童生徒用タブレット活用による学習活動（例）

○算数・数学科の授業の場面で、一人一人が問題の解き方を考えて、その解き方をタブレットPCに書き込み、その中から教師がいくつかの典型的な解き方を大型提示装置に提示してクラス全体で考えるといった協働学習をすることができます。

○社会科・総合的な学習の時間等の校外学習の場面で、町の人にインタビューしている様子を撮影して学校に持ち帰り、その映像を教室で共有することができます。

○体育科のマット運動など、実技を児童生徒がタブレットPCで動画撮影し、グループでその映像を再生しながら改善点を話し合うといったことができるようになります。

○新しい教科書についているQRコードを利用したり、デジタル教科書を利用したりして、児童生徒が自ら調べたり、学んだりすることがこれまでより容易にできるようになります。

○調べ学習の場面では、課題についてインターネットで調べてグループで話し合い、まとめると活動の際のツールとして利用できます。さらに、グループでまとめた内容を、電子黒板等の大型提示装置に写し、クラス全体で話し合うこともできます。

教師用タブレットによる指導（例）

○社会科の授業では、デジタル教科書や教科書のQRコードを活用して、写真や動画資料の提示をスピーディーに行うことができます。資料提示の幅が広がります。

○国語科の授業において、児童生徒のノートをタブレットPCカメラで撮影し、大型提示装置に提示しながら話し合い活動を行うことができるようになります。